

◆ 経営理念

中小企業
の健全な発展

豊かな
国民生活の実現

地域社会
繁栄への奉仕

◆ 令和元年度 基本方針

- ◆ 支援力・営業力の深化×進化
- ◆ 経営力・内部態勢の深化×進化
- ◆ 人材力・組織力の深化・進化



とうしんのキャラクター：信ちゃん

◆ 中期経営計画

令和元年度は、第七次中期3ヶ年計画の中間年度に当たり、「とうしん共創力発揮3カ年計画」を実践し、金融仲介機能の発揮やライフサポート機能・地域活性化支援機能の発揮により、地域金融機関として強固な経営基盤の確立に努めてまいります。

- ① 好循環を生み出す持続可能な地域社会の実現に向けて、「独自性・特性や強み」を活かした取組みを“深化×進化”させ、価値ある課題解決の提案と円滑な資金供給を通じ、必要不可欠な金融機関として、より一層存在感を高めていく。
- ② 地元第一・お客様第一の経営を実践するための強固な経営基盤の構築に向けて、収益性、生産性・効率性、健全性等の向上に資する取組みを“深化×進化”させ、安心できる金融機関として、より一層信頼度を高めていく。
- ③ 全ての人材が輝くための組織づくりに向け、地域やお客様の課題解決を担う人材の育成や働き方改革等に向けた取組みを“深化×進化”させ、相談しやすい金融機関として、より一層好感度を高めていく。

◆ 店舗一覧

店舗名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX 番号
本 部	792-0012	新居浜市中須賀町1-6-37	0897-37-1313	0897-34-8197
本店営業部	792-0012	新居浜市中須賀町1-6-37	0897-37-0124	0897-32-4484
泉 川 支 店	792-0826	新居浜市喜光地町1-11-3	0897-43-7161	0897-43-2040
川 東 支 店	792-0886	新居浜市郷2-6-18	0897-46-1313	0897-46-3098
中 萩 支 店	792-0045	新居浜市中萩町1-30	0897-44-4141	0897-44-4455
新居浜駅前支店	792-0812	新居浜市坂井町1-4-35	0897-37-8686	0897-37-8685
三 島 支 店	799-0404	四国中央市三島宮川4-8-22	0896-24-5430	0896-24-0587
寒 川 支 店	799-0431	四国中央市寒川町2505-1	0896-25-1287	0896-25-2179
西 条 支 店	793-0030	西条市大町1695-3	0897-55-2920	0897-55-5966
喜多川支店	793-0042	西条市喜多川315-5	0897-53-3450	0897-53-3399
小 松 支 店	799-1102	西条市小松町南川甲56-1	0898-72-2480	0898-72-5459

東予信用金庫

〒792-0012 愛媛県新居浜市中須賀町1丁目6番37号
TEL(0897)37-1313 <http://www.toyoshinkin.co.jp/>

TOYOSHINKIN BANK REPORT

平成31年4月1日～令和元年9月30日

(当金庫が取組むSDGs、ESG金融、ESD活動)

歩みて学び
訪ねて話し
紡ぎて広げ
繋ごう未来

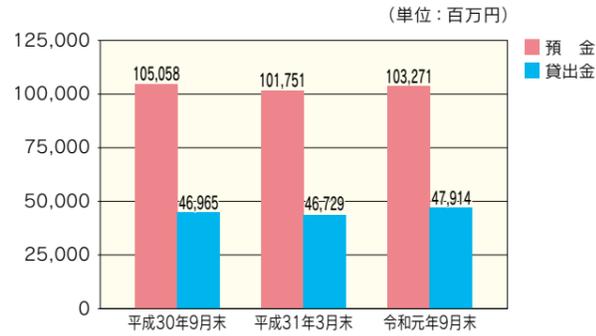


東予信用金庫は、地域社会繁栄に貢献するためSDGs、ESDの精神に則りエコ活動の一環として西日本の名山に挑戦し登山道の清掃活動や子供達の成長事業活動の支援、四国88ヶ寺巡礼者に遍路休憩庵の提供、更にお客様の趣味・嗜好を紡ぎ、人々の輪を広げ地域の歴史・伝統・文化を繋ぐ働き方改革を実践します。



Face to Face Face to Face

◆ 預金・貸出金の状況



◆ 損益の推移

	業務純益	経常利益	当期純利益
令和元年9月末	143	155	128
平成30年9月末	166	207	103
平成29年9月末	134	249	187

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って事業や生活のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

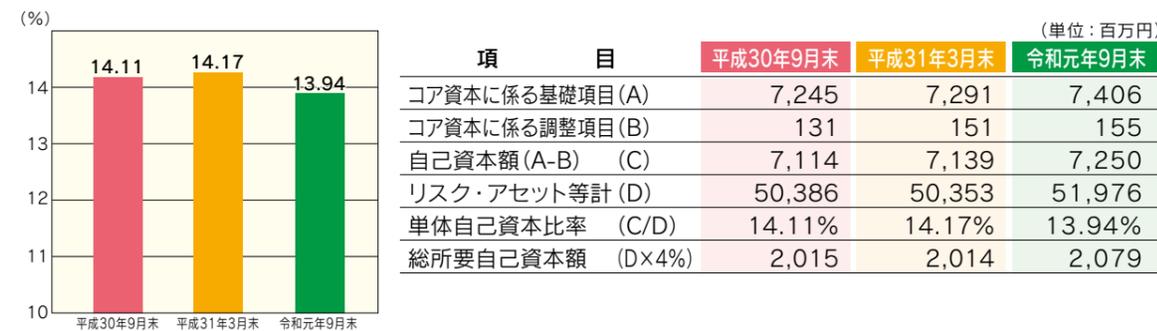
◆ 貸出金業種別内訳

業種	平成30年9月末			平成31年3月末			令和元年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製造業	86	3,168	6.7	82	3,080	6.5	81	3,443	7.1
農業・林業	2	1	0.0	3	1	0.0	2	0	0.0
漁業	3	71	0.1	3	72	0.1	3	73	0.1
建設業	153	2,924	6.2	161	2,847	6.0	160	2,876	6.0
電気・ガス・熱供給・水道業	6	120	0.2	6	115	0.2	5	99	0.2
情報通信業	1	3	0.0	1	2	0.0	1	2	0.0
運輸業・郵便業	12	1,701	3.6	13	1,570	3.3	13	1,495	3.1
卸売業・小売業	132	4,727	10.1	123	4,587	9.8	126	4,551	9.4
金融業・保険業	14	6,468	13.8	15	6,460	13.8	14	6,654	13.8
不動産業	70	7,052	15.0	78	7,600	16.2	78	7,782	16.2
物品賃貸業	2	270	0.6	2	520	1.1	2	440	0.9
学術研究、専門・技術サービス業	5	62	0.1	5	61	0.1	5	60	0.1
宿泊業	7	155	0.3	7	147	0.3	7	139	0.2
飲食業	82	1,121	2.4	81	1,042	2.2	78	1,022	2.1
生活関連サービス業、娯楽業	45	1,012	2.1	44	955	2.0	50	1,002	2.0
教育、学習支援業	3	14	0.0	2	12	0.0	3	26	0.0
医療・福祉業	6	657	1.4	6	579	1.2	6	569	1.1
その他サービス業	93	2,802	6.0	100	2,772	5.9	106	2,820	5.8
小計	722	32,334	68.8	732	32,429	69.3	740	33,062	69.0
地方公共団体	3	5,190	11.1	3	5,202	11.1	3	5,737	11.9
個人	3,709	9,441	20.1	3,621	9,097	19.4	3,592	9,114	19.0
合計	4,434	46,965	100.0	4,356	46,729	100.0	4,335	47,914	100.0

(注) 構成比は貸出金の総額に占める割合です。

◆ 自己資本比率(パーセルⅢ国内基準)

令和元年9月末の自己資本比率は13.94%となり、国内基準である4.0%、国際基準の8.0%をも上回っていることから、経営の健全性は十分に保たれていますので、安心してご利用いただけます。



項目	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
コア資本に係る基礎項目(A)	7,245	7,291	7,406
コア資本に係る調整項目(B)	131	151	155
自己資本額(A-B)(C)	7,114	7,139	7,250
リスク・アセット等計(D)	50,386	50,353	51,976
単体自己資本比率(C/D)	14.11%	14.17%	13.94%
総所要自己資本額(D×4%)	2,015	2,014	2,079

自己資本比率とは？

自己資本比率は金融機関の健全性を示す重要な指標で、自己資本比率の水準(自己資本の充実の状況)により経営改善計画の作成等の「早期是正措置」が発動されることがあります。自己資本比率は国内のみで営業を行う信用金庫の場合、国内基準で4%以上を維持するよう定められています。

◆ 時価のある有価証券の評価差額

	平成31年3月末		令和元年9月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	26,660	102	27,723	249
株式	1,045	▲306	1,069	▲278
債券	19,952	389	20,447	425
その他	5,662	20	6,207	102

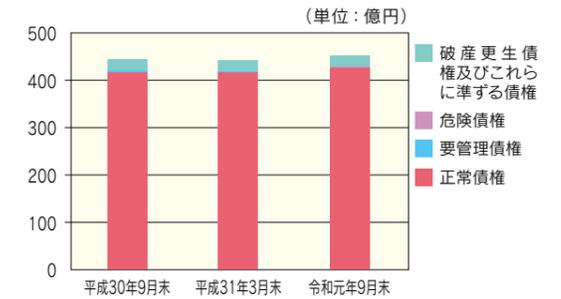
	平成31年3月末		令和元年9月末	
	帳簿価格	含み損益	帳簿価格	含み損益
満期保有目的の債券	3,302	133	2,895	173

(注) 「評価差額」および「含み損益」は、期末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

◆ 金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

区分	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,969	2,571	2,476
危険債権	17	19	13
要管理債権	968	168	183
正常債権	44,482	44,410	45,628
合計	47,438	47,169	48,301

※本表計には、債務保証残高等も含まれていますので、貸出金残高とは合致しません。



(注) 上記の令和元年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

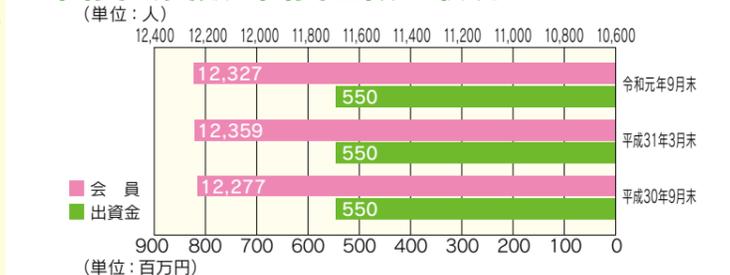
- 令和元年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分残高を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引き下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映しております。
- 令和元年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における残高を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヶ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

トピックス・地域貢献活動!

当金庫は、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みを通じて、国連が提唱するSDGs17の目標達成に貢献していきます。

- アウトドア全体会議「瓶ヶ森」エコ登山を実施しました。
- 信用金庫の日の奉仕活動として新居浜市、西条市、四国中央市にて清掃活動を実施しました。
- 第33回新居浜市市民一斉清掃に参加しました。
- 「ふるさと応援隊」が「春はこども天国」にて税のマンガ冊子の配布等、新居浜法人会ボランティア活動に参加しました。
- サイクリング部、バレーボール部、フラダンス部、野球部が「えひめさんさん物語」を盛り上げ、観光客呼び込みマイントピア別子玄関前イベント出店に参加しました。
- 当金庫のフラダンス部が介護施設等で慰問活動を行いました。
- 寒川支店、川東支店にて地域の皆様の健康と体力づくりを支援する「介護予防セミナー」を開催しました。
- 本店営業部にて「働き方改革セミナー」を開催しました。
- 本店営業部、三島支店、西条支店にて、小学生を対象とした「夏休みこども金融教室」を開催しました。
- 地元高等学校のインターンシップを受け入れました。
- 三島支店主催の第57回信ちゃん杯争奪ゲートボール大会を開催しました。
- 「敬老の日似顔絵ロビー展」を全営業店で開催しました(9月9日～10月11日)。
- 全店舗にてお客様提供の各種展示物をロビーに展示しました。
- 小松町ふるさと祭りに参加しました。
- 四国中央市みなと祭り「笹飾りコンクール」に参加し、「市長賞」を受賞しました。
- サイクリング部員が愛媛県自転車新文化推進協会「サイクリングinしまなみエリア(大三島)」に参加しました。
- 財団法人えひめ振興財団を代表法人とするえひめビジネスサポートネットワーク「チームえびす」に参画し、中小企業の抱える課題解決に取組みました。
- 元号「令和」記念商品「改元定期預金「櫻Tasuki II」」を販売しました。

◆ 出資会員数・出資金額の状況



「瓶ヶ森」エコ登山を実施し、清掃活動を行うなど、環境保全に努めました。



介護予防セミナーを開催し、地域の皆様の健康と体力づくりのお手伝いをしました。